

研究名「芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍の分子病理学的検討」

に参加された方へ

当センターでは下記の臨床研究を実施しています。この研究の詳細についてお知りになりたい方は、問い合わせ担当者まで直接お問い合わせください。

なお、この研究の研究対象者に該当すると思われる方の中で、ご自身の情報等をこの研究に使ってほしくないと思われた場合にも、問い合わせ担当者までその旨をご連絡下さい。

●研究の名称

芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍の分子病理学的検討

●研究の対象

当院にて腫瘍の生検または摘出を受け、BPDCN（旧診断名：芽球性 NK 細胞白血病・リンパ腫）あるいは BPDCN と区別が難しい疾患と診断された方のうち、解析可能な腫瘍組織検体が保存されている方を対象とします。

●研究の期間

倫理委員会承認後から 2022 年 3 月まで

●研究の目的

芽球性形質細胞様樹状細胞腫瘍の病理学的所見、遺伝子異常などを解析し、分子病理学的な理解を深め、病気の悪性度を予測する方法の検討や、治療のターゲットとなるような分子の同定、治療法開発を行うことを目的としています。BPDCN の診断と治療の進歩につながることを期待されます。

●研究の方法

研究への参加に同意いただいた場合、診療目的で生検ないし摘出された組織のうち、診療に用いられた以外の余剰分の試料を主たる研究機関であるがん研究会に送ります。それを用いて、病理組織学的な検討やがん関連遺伝子の異常などについての解析を行います。一部の試料においては、試料の中の腫瘍細胞を長期間培養し、半永久的に増殖する腫瘍細胞集団を作成を試みます。また、性別、年齢、病変の部位、治療内容、治療に対する反応性と結果等の臨床情報についても、診療情報から抽出して提供します。これらの試料・情報は、誰であることかわからないように処理（匿名化）された状態で送られます。

研究-参考書式2

●研究に使用する試料・情報

診療目的で生検ないし摘出された組織、研究対象者背景（性別、年齢、等）

●情報提供の方法

生検ないし摘出された組織をがん研究会に送ります

●研究組織

研究実施機関 がん研究会

研究責任医師 がん研究所病理部部长

がん研究所分子標的病理プロジェクトプロジェクトリーダー

竹内賢吾

解析 分子標的病理プロジェクト病理部特任研究員

坂本佳奈

京都大学腫瘍生物学講座

小川誠司

その他、既存試料・情報の提供を行う協力が得られた機関50施設

●資料の入手または閲覧、開示

この研究が実施されていることは、公益財団法人がん研究会のホームページに記載されています。この研究の研究計画書や研究の方法に関する資料をご覧になりたい場合や、研究終了後に研究結果をお知りになりたい場合は担当医にお尋ね下さい。他の参加患者さんの個人情報等の保護やこの研究の独創性の確保に支障がない範囲内で対応させていただきます。

研究の成果は学会や学術雑誌およびデータベース上で公に発表されます。しかし、個人が特定されることはありません。また、がん関連遺伝子の解析で得られた遺伝子情報等について、研究者が利用する公的データベースに登録することがあります。その場合でも、完全に匿名化をした上で登録を行いますので、誰の遺伝子情報であるかは利用者にはわかりません。

●お問い合わせ先

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

東京都健康長寿医療センター 化学療法科

宮本 鋼

〒173-0015 東京都板橋区栄町 35 番 2 号

03-3964-1141